

平成24年3月期 第1四半期決算短信[日本基準](連結)

(氏名) 藤本 義治

平成23年7月29日

上場会社名 アツギ株式会社

上場取引所 東大

コード番号 3529 URL http://www.atsugi.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長

問合せ先責任者(役職名)経営企画室長 (氏名)工藤 洋志 TEL 046-235-8107

四半期報告書提出予定日 平成23年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,190	0.2	145	△61.5	45	△86.9	△86	_
23年3月期第1四半期	5,178	△2.6	378	4.2	343	△2.5	297	△12.5

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 11百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △767百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△0.48	_
23年3月期第1四半期	1.62	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	52,854	43,052	81.3
23年3月期	53,249	43,882	82.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 42,948百万円 23年3月期 43,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金 第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計							
	円銭	円銭	円 銭	円銭	円銭			
23年3月期	_	0.00	_	3.00	3.00			
24年3月期	_							
24年3月期(予想)		0.00	_	3.00	3.00			

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	11,140	2.4	850	△8.1	800	7.5	300	△56.5	1.69
通期	23,000	2.0	1,720	3.7	1,540	17.0	750	△24.7	4.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	188,195,689 株	23年3月期	208,195,689 株
24年3月期1Q	10,832,722 株	23年3月期	27,828,669 株
24年3月期1Q	178,957,840 株	23年3月期1Q	183,840,855 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	ヨ四干期伏昇に関する正性的情報		Z
	(1)連結経営成績に関する定性的情報		2
	(2)連結財政状態に関する定性的情報		2
	(3)連結業績予想に関する定性的情報		2
2.	サマリー情報(その他)に関する事項		3
	(1) 当四半期連結累計期間における重要	な子会社の異動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の	つ会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変	変更・修正再表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3.	四半期連結財務諸表 ••••••		4
	(1) 四半期連結貸借対照表 · · · · · · · · ·		4
	(2)四半期連結損益計算書及び四半期記	車結包括利益計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	四半期連結損益計算書 •••••		6
	四半期連結包括利益計算書 •••		7
	(3)継続企業の前提に関する注記・・・		8
	(4) セグメント情報等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••	8
	(5)株主資本の金額に著しい変動があっ	た場合の注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、エネルギー問題や環境汚染問題等が発生し、継続する円高や厳しい雇用情勢および所得環境なども加わり、景気の先行きは不透明なまま推移しております。一方で災害からの復興への機運も見えはじめ、一日も早い国内経済の正常化が望まれています。

繊維業界においても、消費マインドの冷え込みや企業間競争の激化により、依然として厳しい環境にあります。

このような状況において、当社グループは、原料加工から最終製品までを一貫生産し販売する専業メーカーとしての特性を活かし、価格を上回る価値ある商品の企画開発と、グループ全社を挙げて効率性アップに取り組み、収益改善に努めておりますが、個人消費の低迷の影響を受け、厳しい経営環境が続いております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 5,190 百万円(前年同期比 0.2%増)、営業利益は 145 百万円(前年同期比 61.5%減)、経常利益は 45 百万円(前年同期比 86.9%減)、投資有価証券評価損等を特別損失に計上したことにより、四半期純損失は 86 百万円(前年同期は 297 百万円の利益)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

[繊維事業]

靴下部門は、今春発売したプレーンストッキングの新ブランド「ASTIGU(アスティーグ)」が順調に推移し、他のベーシック商品の復調も見られ、セパレート商品や春夏向け素材を使用したレギンス、トレンカなどが堅調に推移しました。一方でトレンド性の高い商品の伸び悩みはありましたが、同部門の売上高は4,227百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

インナーウエア部門は、ショーツ、ジュニア向け商品が順調に推移しましたが、主力商品のブラジャー関係の商品は伸び悩み、その結果売上高は713百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

これらの結果、繊維セグメント全体では売上高 4,940 百万円(前年同期比 1.2%増)、営業利益は 39 百万円(前年同期比 85.2%減)となりました。

[不動産事業]

不動産事業については、依然厳しい状況は継続しており、不動産セグメント全体では売上高 139 百万円(前年同期比 27.6%減)、営業利益は 102 百万円(前年同期比 5.8%減)となりました。

[その他の事業]

その他の事業については、介護用品が引き続き堅調に推移し、セグメント全体では売上高 110 百万円(前年同期比 4.2%増)、営業利益は4百万円(前年同期比 66.0%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[連結財政状態]

当第1四半期連結会計期間末における総資産は 52,854 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 395 百万円減少いたしました。これは主に、現預金の減少 956 百万円、売上債権の減少 321 百万円、たな卸資産の増加 813 百万円等によるものであります。

負債の部は 9,801 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 434 百万円増加いたしました。これは主に、仕入債務の増加 413 百万円等によるものであります。

純資産の部は 43,052 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 830 百万円減少いたしました。これは主に、四半期純損失 86 百万円と、前期決算に係る配当金 541 百万円等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は81.3%前連結会計年度末は82.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は特殊要因はあるものの、概ね想定内の推移であることから平成24年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日公表の業績予想から変更はありません。

- 2. サマリー情報(その他)に関する事項
 - (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
 - (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
 - (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間(平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9, 868	8, 911
受取手形及び売掛金	3, 401	3, 080
商品及び製品	3, 245	3, 668
仕掛品	1, 884	2, 220
原材料及び貯蔵品	491	545
繰延税金資産	392	399
その他	255	334
貸倒引当金	△15	△30
流動資産合計	19, 525	19, 130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5, 885	5, 803
機械装置及び運搬具(純額)	2, 742	2, 583
工具、器具及び備品(純額)	98	93
土地	16, 758	16, 758
建設仮勘定	1, 031	1, 252
有形固定資産合計	26, 516	26, 492
無形固定資産	470	454
投資その他の資産		
投資有価証券	5, 924	5, 935
繰延税金資産	157	157
その他	664	684
貸倒引当金	△8	$\triangle 0$
投資その他の資産合計	6, 737	6, 776
固定資産合計	33, 723	33, 723
資産合計	53, 249	52, 854

アツギ株式会社(3529)平成24年3月期 第1四半期決算短信

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部	(1),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(1///2010/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/
流動負債		
支払手形及び買掛金	2, 297	2,710
未払法人税等	155	35
賞与引当金	143	39
その他	2, 408	2, 644
流動負債合計	5, 004	5, 430
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2, 460	2, 460
退職給付引当金	1, 297	1, 317
その他	603	592
固定負債合計	4, 362	4, 370
負債合計	9, 366	9, 801
純資産の部		
株主資本		
資本金	31, 706	31, 706
資本剰余金	11, 389	9, 398
利益剰余金	6, 400	5, 772
自己株式	△2,772	△1,080
株主資本合計	46, 723	45, 796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	129
繰延ヘッジ損益	△940	△913
土地再評価差額金	△1, 483	△1, 483
為替換算調整勘定	△533	△581
その他の包括利益累計額合計	$\triangle 2,946$	$\triangle 2,848$
少数株主持分	106	104
純資産合計	43, 882	43, 052
負債純資産合計	53, 249	52, 854

(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書) (第1四半期連結累計期間)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	5, 178	5, 190
売上原価	3,098	3, 154
売上総利益	2, 080	2, 036
販売費及び一般管理費	1,701	1, 890
営業利益	378	145
営業外収益		
受取利息及び配当金	77	86
持分法による投資利益	6	6
その他	21	22
営業外収益合計	105	116
営業外費用		
租税公課	8	15
為替差損	121	186
その他	10	15
営業外費用合計	141	217
経常利益	343	45
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	_
投資有価証券売却益	1	_
特別利益合計	1	_
特別損失		
固定資産除却損	16	_
投資有価証券評価損	13	119
投資有価証券売却損	0	0
特別損失合計	30	119
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	315	△74
法人税、住民税及び事業税	10	6
法人税等調整額	6	4
法人税等合計	16	11
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	298	△86
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	297	△86

		(十四・日/917/
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	298	△86
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△634	119
繰延ヘッジ損益	$\triangle 244$	27
為替換算調整勘定	△188	△75
持分法適用会社に対する持分相当額	2	27
その他の包括利益合計	△1, 065	98
四半期包括利益	△767	11
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△763	14
少数株主に係る四半期包括利益	$\triangle 3$	$\triangle 2$

(3) 継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 ~ 至 平成22年6月30日) 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	,	報告セグメン 不動産事業	-	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高 (1) 外部顧客への売上高 (2) セグメント間の内部売上高	4,879	192	5,072 0	106	5,178 0	(0)	5,178 -
又は振替高 計 セグメント利益	4,880 267	192 108	5,072 376	106	5,178 378	(0)	5,178 378

- (注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の製造・仕入・販売であります。
- (注) 2 セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去であります。
- (注)3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 ~ 至 平成23年6月30日) 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント 繊維事業 不動産事業 計			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	似作于未	个别压事术	PΙ				司工領(任/3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,940	139	5,080	110	5,190	_	5,190
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	_	0	-	0	(0)	_
計	4,941	139	5,080	110	5,191	(0)	5,190
セグメント利益	39	102	141	4	145	(0)	145

- (注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入および販売であります。
- (注)2 セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去であります。
- (注)3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月13日の取締役会決議により、平成23年5月31日付で、自己株式2,000万株の消却を行いました。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本剰余金が1,991百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末における資本剰余金は9,398百万円となっております。